われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http ://izoku-okayama.jp/

靖國神社春季例大祭に衆参国会議員百二十三人参拝

靖國神社春季例大祭（四月二十一～二十三日）前の二十日、超党派の国会議員で構成する「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会（会長・古賀誠自民党元幹事長／日本遺族会顧問）」の衆参両院国会議員百三十三人が靖國神社に参拝し、社に眠る英霊に感謝の誠を捧げた。政府からは国民新党の森田高総務政務官が参拝したが、首相・閣僚の参拝はなかった。

同会幹事の逢沢一郎衆議院議員（自民・岡山二区）は参拝後、靖國神社で記者会見し、「政権交代後、閣僚の参拝が途切れた状態になっている。非常に残念だ」と現政権の姿勢を批判した。

同会は毎年、春秋の例大祭及び終戦記念日に参拝している。

参拝された衆参両院議員及び別途参拝の議員は次のとおり。

（党派別・敬称略）

議員本人参拝

▼衆議院　54人

【自民党】逢沢一郎、秋葉賢也、井上信治、今津寛、今村雅弘、江藤拓、遠藤利明、小里泰弘、小野寺五典、梶山弘志、金子恭之、河村建夫、北村茂男、北村誠吾、**古賀誠**、後藤田正純、塩谷立、新藤義孝、高市早苗、高木毅、竹下亘、竹本直一、二階俊博、西野陽、西村康稔、林幹雄、古屋圭司、保利耕輔、町村信孝、三ツ矢憲生、森山裕、山口俊一、山本幸三、山本有二、谷垣禎一、大島理森

【民主党】網屋信介、大西孝典、古賀敬章、鈴木克昌、高野守、長尾敬、原口一博、福島伸享、向山好一

【たちあがれ日本】平沼赳夫、園田博之

【国民新党】下地幹郎

【無所属】衛藤征士郎、木内孝胤、城内実

【新党大地】浅野貴博

【みんなの党】柿澤未途

【新党きづな】渡辺義彦

▼参議院　31人

【自民党】有村治子、石井浩郎、磯崎仁彦、岩城光英、金子原二郎、岸宏一、岸信夫、佐藤信秋、佐藤正久、谷川秀善、中川雅治、中曽根弘文、中西祐介、藤川政人、牧野たかお、松山政司、**水落敏栄**、三原じゅんこ、山谷えり子、山本順三、吉田博美、若林健太

【民主党】金子洋一、外山斎、羽田雄一郎

【たちあがれ日本】中山恭子、藤井孝男

【無所属】尾辻秀久

【みんなの党】江口克彦、柴田巧

【国民新党】森田高

議員代理参拝

▼衆議院　29人

【自民党】赤澤亮正、**阿部俊子**、稲田朋美、伊吹文明、江渡聡徳、**加藤勝信**、金子一義、木村太郎、佐田玄一郎、塩崎恭久、田中和徳、棚橋泰文、谷川弥一、田野瀬良太、田村憲久、徳田毅、中川秀直、中谷元、額賀福志郎、野田聖子、平井卓也、福井照、松本純、村上誠一郎、望月義夫、森喜朗、山本公一、山本拓

【民主党】高邑勉

▼参議院　19人

【自民党】青木一彦、石井準一、上野通子、衛藤晟一、岡田広、加治屋義人、小坂憲次、鈴木政二、関口昌一、野村哲郎、林芳正、松村祥史、松村龍二、山崎正昭、山本一太

【たちあがれ日本】片山虎之助

【民主党】友近聡朗

【新党】荒井広幸

【国民新党】自見庄三郎

新緑薫る護國神社では 岡山県戦没者春季慰霊祭

五月五日、護國神社において岡山県戦没者顕彰会（会長・河本勉県議会議長）主催による恒例の春季岡山県戦没者慰霊祭が執り行われ、県下各地から約二千人が参列した。

慰霊祭は笹井和男護國神社宮司以下、祭員の奉仕により厳粛に執り行われ、河本勉顕彰会会長に続いて、古矢博通副知事、国会議員及び県議会議員、各団体代表らが玉串を奉奠し、社に鎮まる本県出身戦没者五万六千七百十四柱の御霊に感謝の誠を捧げると共に、世界平和希求の誓いをあらたにした。翌六日には県護國神社春季例大祭が執り行われ約千人が参列した。

慰霊祭終了後、参列者に挨拶する古矢岡山県副知事（５月５日：県護國神社）

両日の慰霊行事にあわせ、県遺族連盟では東日本大震災の戦災遺児への義援募金を実施し、参列者から温かい浄財が寄せられた。

春の慰霊行事に参列をいただきました各界代表の方々は次のとおりです。今後ともご英霊の慰

みんなで靖國神社に参拝する議連

霊顕彰と戦没者遺族援護にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、参拝者受付・交通整理等、早朝からご奉仕をいただきました各関係者の皆様方に紙上ではありますが、あらためてお礼申し上げます。

（順不同・敬称略）

▼岡山県副知事
古矢　博通

▼岡山県議会議長
河本　勉

▼国会議員
逢沢　一郎
平沼　赳夫（代理）
村田　吉隆（代理）
加藤　勝信（夫人）

遺族会員による参列者受付

阿部　俊子
津村　啓介
柚木　道義
高井　崇志
片山虎之助
姫井由美子

▼岡山県議会議員
戸室　敦雄
千田　博通
古山　泰生
渡辺　英気
岸本　清美
伊藤　文夫
波多　洋治（夫人）
神宝　謙一
蜂谷　弘美
遠藤　康洋
浅野　實
小林　健伸
太田　正孝
小林　義明
佐藤　真治
小倉　弘行
江本　公一
渡辺　吉幸
小林孝一郎
一井　暁子（前）

▼岡山県町村会会長
重森　計己
（吉備中央町）

▼市町村議会議員
松島　重綱（岡山市）
和気　健（〃）
川本浩一郎（〃）

▼自民党第四選挙区支部長
橋本　岳

▼自民党第二選挙区支部長
山下　貴司

▼岡山県神社庁副庁長
河本　貞紀

▼岡山県偕行会会長
岡本　巖

▼岡山市婦人連合会会長
石尾　玲子

◎春季慰霊祭の模様はユーチューブで見ることができます。

神社鳥居前での震災遺児義援募金

女性部から奉納された千羽鶴

遺骨帰還事業参加者募集
旧ソ連・硫黄島など７地域

このたび厚生労働省による戦没者遺骨帰還事業の実施概要が発表され、日本遺族会より参加者の取りまとめについて依頼がありました。会員皆様方のご協力をお願いいたします。

▼実施予定地域等
別表のとおり。
※地域、期間は変更になる場合があります。

▼参加資格
①遺族会の会員で、原則として七十五歳未満で身体健康な方。
②戦没者の孫。但し、満十八歳以上の男子で、二十歳未満の場合は親権者の承諾が必要。

▼申込み先
県遺族連盟まで。折り返し参加申込書を送付いたします。

	地域		期間
1	旧ソ連	クラスノヤルスク地方	７月中旬～８月上旬／21日間
2		カザフスタン共和国	８月上旬～８月下旬／17日間
3		ブリヤート共和国	９月上旬～９月下旬／19日間
4	モンゴル・ノモンハン		８月下旬～９月上旬／16日間
5	東部ニューギニア		１月中旬～１月下旬／16日間
6	硫黄島		２月上旬～２月中旬／15日間
7	ビスマーク・ソロモン諸島		２月下旬～３月上旬／12日間

回顧

勝って来るぞと出かけたが
未だ帰らぬ負け戦
苦労しながら育てた子
返す返すも残念だ
若い命はふみつけに

思えば去ること七十年
平和な家庭は忽ちに
有無を言わせぬ召集令
愛しい家族と泣き別れ
これが最後となりました

弾丸もタンクも銃剣も
何の役にもたた何だ
こんな戦争誰がした
泣き泣き守った父母は死に
犠牲になって婆になり

やれやれ悔しや情けなや
泣いても昔は戻らぬが
今の幸せ引き換えに
笑って生きよう百までも
明日の命は預けます

昭和の激動期、次々に召されていく兄達。戦いに敗れて次々に入る死亡の知らせ。残された子供たちのこと、母は失明、私も泣きました。

同感の人も少なくなったと思いますが、八十六歳の思いをパソコンに投じました。

新見市法曹
小川　亀美恵

戦没者の遺児の皆さんへ

「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」参加者募集

日本遺族会では、平成三年より政府の委託・補助を受けて「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」を実施しています。

この事業は、戦没者遺児に対する慰藉の一環として、父等を国に捧げた戦没者の遺児が、一度は亡き父等の眠る地で心ゆくまで慰霊追悼を行うと共に、現地の人々との友好親善を深めることを目的としており、これまでに一万二千五百人の遺児が参加しています。

平成二十四年度は別表の実施計画概要のとおり、十四地域及び三地域（特定地域）を計画していますので、関係遺児の方々の多数の参加をお待ちしています。

募集要項は次のとおりです。

▼実施地域・時期
別表のとおり。

▼参加資格
実施地域（周辺海域を含む）で父等を亡くした戦没者の遺児で過去に本事業に参加したことのない方。（平成十八年度以前に参加した方については二回目の応募が可能）

▼参加経費　九万円
※集合場所までの往復交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は別途個人負担。

▼その他
※燃料費高騰、円安等諸般の事情により値上げする場合があります。
※実施日数には東京都内等の集合日（集合日に結団式及び説明会を行います）が含まれます。
※実施時期、日程等については、相手国の事情等により変更や取りやめになる場合がありますので、予めご承知おき願います。

▼お申込みは
県遺族連盟まで。

	実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
		主な訪問予定地		
1	旧満州	平成24年７月４日㈬～７月13日㈯　９泊10日	40人	平成24年５月25日
		A班＝ハイラル、チチハル、北安、ハルピン、瀋陽 B班＝大連、牡丹江、延吉、北朝鮮（中国国境より遥拝）、吉林、長春、瀋陽		
2	旧ソ連	平成24年７月19日㈭～７月27日㈮　８泊９日	45人	平成24年６月５日
		A班＝ハバロフスク、樺太（ユジノサハリンスク、スミルヌイフ） B班＝ハバロフスク、コムソモリスク、ビロビジャン、イズベストコーワヤ C班＝イルクーツク、チタ		
3	モンゴル	平成24年８月３日㈮～８月10日㈮　７泊８日	15人	平成24年６月19日
		ウランバートル、ノモンハン		
4	西部ニューギニア	平成24年８月23日㈭～９月１日㈯　９泊10日	35人	平成24年７月９日
		A班＝ジャヤプラ（旧ホーランジャヤ）、ゲニム、ビアク島 B班＝ソロン、マノクワリ		
5	中国（１次）	平成24年９月７日㈮～９月15日㈯　８泊９日	45人	平成24年７月24日
		A班＝北京、鄭州、太原　B班＝上海、南京、武漢　C班＝龍陵、拉孟、騰越		
6	マリアナ諸島	平成24年10月１日㈪～10月７日㈰　６泊７日	40人	平成24年８月17日
		A班＝グアム島、サイパン島 B班＝サイパン島、テニアン島		
7	東部ニューギニア（１次）	平成24年10月13日㈯～10月20日㈯　７泊８日	40人	平成24年８月30日
		A班＝マダン、ウエワク、ボイキン、ブーツ B班＝ポポンデッタ、ギルワ、ラエ、ウエワク		
8	ボルネオ・マレー半島	平成24年10月22日㈪～10月31日㈬　９泊10日	30人	平成24年９月７日
		A班＝コタキナバル、ケニンゴウ、ミリ、ブルネイ、ラブアン、マレー半島 B班＝シンガポール、バリクパパン、タラカン、タワウ、サンダカン		
9	トラック諸島	平成24年10月27日㈯～11月３日㈯　７泊８日	20人	平成24年９月13日
		春島、夏島、秋島、水曜島及び環礁内洋上慰霊		
10	パラオ諸島	平成24年10月27日㈯～11月３日㈯　７泊８日	20人	平成24年９月13日
		パラオ本島、アンガウル島、ペリリュー島及び環礁内洋上慰霊		
11	ソロモン諸島	平成24年11月３日㈯～11月10日㈯　７泊８日	20人	平成24年９月19日
		ガダルカナル島、ニュージョージア島（ムンダ）		
12	フィリピン（１次）	平成24年11月14日㈬～11月21日㈬　７泊８日	120人	平成24年９月28日
		A班＝マニラ及び東方山地 B班＝コレヒドール島、バターン、クラーク、マニラ南方 C班＝ルソン島北部（バギオ、クラーク） D班＝ルソン島北部（バレテ峠、ソラノ、キャンガン、オリオン峠） E班＝ネグロス島（バコロド）、ミンダナオ島（ダバオ、タモガン） F班＝セブ島、レイテ島（ブラウエン、リモン峠、ビリアバ、オルモック）		
13	ミャンマー（１次）	平成24年11月26日㈪～12月５日㈬　９泊10日	60人	平成24年10月12日
		A班＝ヤンゴン、ペグー、トングー、モールメン、サラワジ B班＝ミートキーナ、マンダレー、メークテーラ、パガン C班＝アキャブ、マンダレー、カレミョー		
14	台湾・バシー海峡	平成25年１月16日㈬～１月22日㈫　６泊７日	15人	平成24年12月２日
		台北、台中、高雄、墾丁		
15	ミャンマー・インド（２次）	平成25年２月12日㈫～２月21日㈭　９泊10日	45人	平成24年11月13日／インド 平成24年12月21日／ミャンマー
		A班＝ペグー、トングー、モールメン、サラワジ、ヤンゴン B班＝ミートキーナ、マンダレー、アキャブ C班＝インパール、コヒマ		
16	東部ニューギニア（２次）	平成25年２月23日㈯～３月２日㈯　７泊８日	37人	平成25年１月９日
		A班＝マダン、ハンサ、ウエワク B班＝ラエ、フィンシュハーヘン（機上遥拝）、ウエワク		
17	フィリピン（２次）	平成25年３月６日㈬～３月13日㈬　７泊８日	120人	平成25年１月23日
		A班＝マニラ及び東方山地 B班＝コレヒドール、バターン、クラーク、マニラ南方 C班＝ルソン島北部（バギオ、クラーク） D班＝ルソン島北部（バレテ峠、ソラノ、キャンガン、オリオン峠） E班＝ネグロス島（バコロド）、ミンダナオ島（ダバオ、タモガン） F班＝セブ島、レイテ島（ブラウエン、リモン峠、ビリアバ、オルモック）		
18	中国（２次）	平成25年３月21日㈭～３月29日㈮　８泊９日	45人	平成25年２月７日
		A班＝北京、鄭州、太原　B班＝上海、武漢、岳陽、長沙　C班＝広州、桂林、長沙		

◎特定地域として下記の３地域を行う予定です。

1	西部ニューギニア	平成25年２月１日㈮～２月10日㈰　９泊10日	36人	平成24年12月21日
		A班＝ジャヤプラ（旧ホーランジャヤ）、ゲニム、ビアク B班＝ハルマヘラ、アンボン、ソロン		
2	ビスマーク諸島	平成25年２月23日㈯～３月２日㈯　７泊８日	36人	平成25年１月９日
		A班＝マヌス、カビエン、ラバウル　B班＝ブカ島、ブーゲンビル島、ラバウル		
3	マーシャル・ギルバート諸島	平成25年３月16日㈯～３月24日㈰　８泊９日	36人	平成24年11月16日
		A班＝クエゼリン、マジュロ　B班＝タラワ、マキン		

平成24年度外国地域戦跡慰霊巡拝事業
旧ソ連（沿海・ハバロフスク地方、ユダヤ自治州）慰霊巡拝のご案内

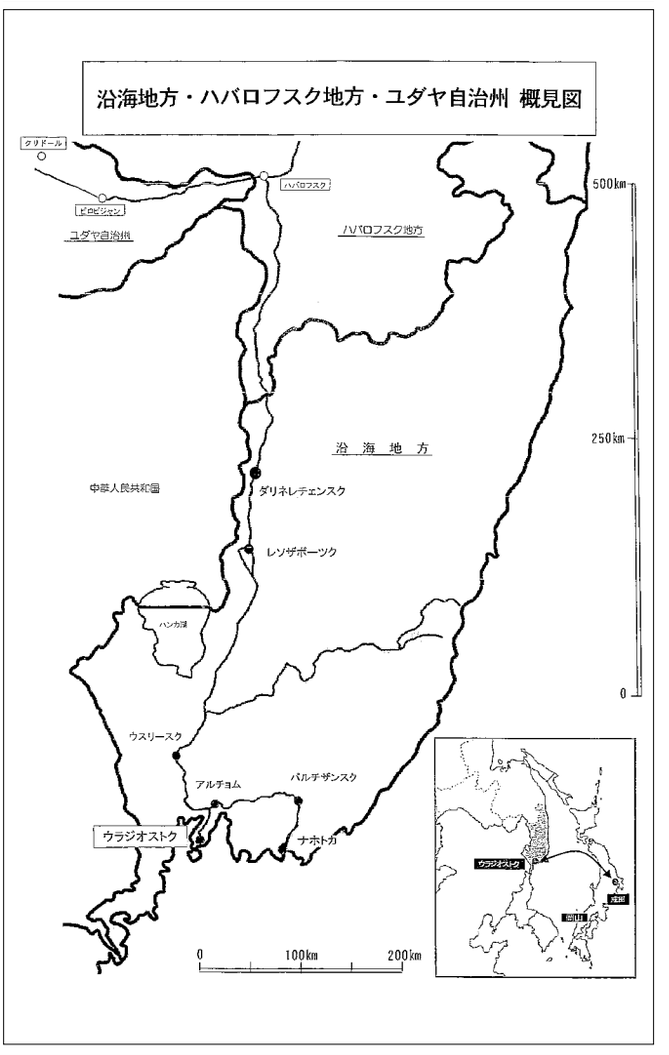
岡山県遺族連盟では毎年、故郷遠い外地で散華された戦没者の苦難の戦いを偲び御霊をお慰めするため、県補助事業により海外の戦跡慰霊巡拝を行っています。平成二十四年度は県遺族連盟として初めて旧ソ連を計画し、ウラジオストクからハバロフスク、ビロビジャンなどの各戦跡地や収容所跡を巡り、現地で墓参・慰霊祭を執り行います。

祖国帰還叶わず倒れられたご英霊をお慰めしたいと存じますので、関係ご遺族は勿論のこと、多くの皆様方のご参加を賜ります様お願いいたします。

目次	月　日	地　名	時間(現地)	交通機関	行　程
1	8／27(月)	岡山空港発 羽田空港着 成田空港発 ハバロフスク空港着	7：35 8：45 15：30 20：05	JAL-1680 専用車 S7-568	岡山空港集合。空路、羽田空港へ 靖國神社昇殿参拝後、成田空港へ シベリア航空でハバロフスクへ（時差２時間） …ハバロフスク泊
2	8／28(火)	ハバロフスク クリドゥール	午　前 午　後	専用車	ハバロフスクからクリドゥールへ 着後、【クリドゥール周辺慰霊巡拝】 …クリドゥール泊
3	8／29(水)	クリドゥール ビロビジャン	午　前 夕　刻	専用車	クリドゥールからビロビジャンへ 途中、イズベストコーヴィ、ロンドコ、 ビラ周辺慰霊巡拝　…ビロビジャン泊
4	8／30(木)	ビロビジャン ハバロフスク駅発	午　前 午　後 21：00	専用車 シベリア鉄道	ビロビジャンからハバロフスクへ 【ニコラエフカ、ハバロフスク周辺慰霊巡拝】 ハバロフスク平和記念公園で合同追悼式 シベリア鉄道でウラジオストクへ …車中泊
5	8／31(金)	ウラジオストク駅着 ウラジオストク	8：00 終　日	専用車	着後、【ウラジオストク周辺慰霊巡拝】 ウラジオストク港、トゥルドヴォエ、アルチョム等訪問 …ウラジオストク泊
6	9／1(土)	ウラジオストク空港発 成田空港着 羽田空港発 岡山空港着	14：25 14：40 19：15 20：35	S7-565 専用車 JAL-1689	シベリア航空で成田空港へ 着後、羽田空港へ 国内線で岡山空港へ 着後、解散

◎参 加 経 費　240,000円也（遺族会々員経費）
注１）その他の方は30,000円の追加経費でお受けします。
注２）ビザ申請費用が別途必要。旅行傷害保険は任意加入です。
◎募 集 人 員　20名程度
◎お申し込み　６月22日(金)までに下記へお申し込み下さい。
〒703-8272 岡山市中区奥市３-22「岡山県遺族連盟」電話 086-271-7175
※上記日程は交通機関等の都合により変更になる場合があります。

岡山県遺族連盟



涙の慰霊祭

井原市神代町　笠原幹二

三月三日から十日の間、フィリピン地域慰霊友好親善訪問団に参加いたしました。

父の亡くなった「サラクサク峠」までは行けませんでしたが、多くの岡山部隊将兵が眠られるバレテ峠の慰霊碑で、父と叔父の慰霊祭を執り行っていただきました。

慰霊碑前で追悼文を捧げましたが途中で泣いてしまいました。こんな暑い、食糧も水も無い中で亡くなったかと思うと涙が溢れてきました。参加された遺児の皆様も感激しておられました。

年を取り、飛行機に乗ったこともない田舎者の私ですが、皆様方からお気遣いをいただき、無事、慰霊の務めを果たすことができました。ありがとうございました。

フィリピン全戦没者追悼式に臨んだ笠原さん
（３月８日：比島戦没者の碑）

いさお新聞　毎月十五日発行　（1165）

追悼のことば

倉敷市児島塩生
小島　健一郎

お父さん、このたび日本遺族会のご尽力により、永年の念願でありましたお父さんの終焉の地、西部ニューギニアに足を運ばせていただき、やっとお父さんに逢えました。あれから七十年の年月が経ちました。長かったです。感無量です。

戦地では食料も水も無く辛かったことと察しますす。私も「戦争なんて無かったら」と何度も思いました。そして淋しい悔しい思いもしました。

お父さんのことは何もわかりません。でも親戚の人から聞いたり、お母さん宛のハガキから私への思いは伝わって来ます。

お父さんが出生する時、列車が発車するのに腕に抱いた生後六カ月の私を手離すことが出来なかったと聞いております。さぞかし辛かったのでしょう。このことは一生忘れません。素晴らしい父親像は私の中に生き続けています。

母は今、入院しています。話は出来ませんが元気です。私は二十五歳で結婚し、宏雅、佳子、昌子の三人の子、そして孫にも恵まれました。三歳の孫は「ひいじいちゃん」と言って、妻と一緒に仏壇に手を合わせ、とても可愛いです。妻の洋子は一日たりとも欠かさずお父さんの供養をしてくれ、唯々感謝しております。長女の佳子は、嫁ぎ先にお父さんの写真を持って行っているようです。

お父さん、私と一緒に日本に帰りましょう。家族もどんなに喜ぶことでしょう。

戦後の日本は、国民の努力により平和で経済大国となりましたが、昨年は東日本大震災に見舞われました。多くの人々が家族や肉親を失い、本当に可愛そうです。しかし、戦争は人間が起こしたものです。お父さんの遺児として、子供や孫に同じ思いは決してさせたくありません。二度とこのような悲しいことがないよう願って止みません。

あとがきー

二月二日から十日までの日程で西部ニューギニア地域慰霊友好親善訪問団に参加いたしました。亡き父の戦没地であるビアク島で追悼の言葉を読ませていただき、永遠に忘れることのない思い出になりました。参加された遺児全員、同じ思いだったことでしょう。貴重な機会を与えていただきました日本遺族会、関係者の皆様方に深く感謝いたします。

ビアク島の戦没日本人の碑でA班の皆さんと
（小島さんは慰霊碑左）

ジャヤプラの病院を訪問し、車椅子を贈る岸本団長（本連盟会長）

玉砕の島「硫黄島」へ

美作市後山
廣畑　晃

昨年の秋、元英田郡遺族会副会長の春名祐市氏から、岡山県遺族連盟の機関紙「いさお新聞」に、硫黄島戦跡慰霊巡拝の募集がなされているとの紹介をいただき、日本遺族会へ申し込みをしたところ、運良く岡山県から備前市・水田紀明氏の二人の参加が実現し、十二月七・八日の二日間、亡き祖父の戦死した硫黄島を巡りました。

祖父・故廣畑秀雄は、満州事変、支那事変に応集・除隊後、朝鮮総督府の警察勤務中に再度召集され、硫黄島において陸軍混成第二旅団独立臼砲第二十大隊に所属し、激戦の末、玉砕しました。勿論、私にとって亡き祖父は、祖母や母親、近隣の方々の話を聞いたり、写真を見ることでその面影を偲ぶのみです。

十二月七日に東京九段の靖國会館で結団式があり、靖國神社に昇殿参拝後、バスにて埼玉県入間市のホテルに移動し一泊。翌八日に埼玉県狭山市にある航空自衛隊入間基地に移動し、航空自衛隊のC－1輸送機で空路、硫黄島に渡りました。

本土とは違い気温は高く、地面からは白い硫黄の煙が立ち上る水気の無い灼熱の島でした。自衛隊隊員の話によると現地ではバナナやパイナップルが自生し、ヘビは全くいないとのこと。また、戦前は民間人が住んでおり、島内に南部落、北部落など五カ所の集落があったが、終戦と共に本土へ移住したとのことです。

基地到着後、海上自衛隊硫黄島航空基地司令、航空自衛隊硫黄島分屯基地司令の参列をいただき、島内東北部「天山」に建立されている硫黄島戦没者慰霊塔に於いて全戦没者追悼式に臨んだ後、三台のマイクロバスに分乗し、所属部隊の守備地跡に建立されている石碑を巡り、遥か郷里を離れた硫黄島で祖国の盾となられた肉親の冥福をお祈りしました。

「やっと六十九年振りに迎えにきました。一緒に家へ帰ろうや」と祖父に語りかけました。腹一杯水も飲めず、ここで祖父が亡くなったのかと思うと涙が溢れてきました。

そして、島内で一番標高の高い「摺鉢山」に登り、青い空と海に浮かぶ硫黄島を見渡しながら、激戦の果てに散った日米両軍の将兵の御霊安らかなれとお祈りし、私たちの巡拝を終えました。

残された家族の代表として、やっと自分の責任が果たせたことがとても嬉しく感謝の気持ちで一杯です。色々とお世話をいただき親切にして下さいました各関係者の皆様方に心から厚くお礼申し上げます。

祖父・廣畑秀雄伍長の勇姿

追悼式に臨んだ関係ご遺族
廣畑さんは後列右から二人目（12月８日：天山慰霊碑）

お父さんへ

倉敷市有城　藤原公男

お父さん、また来ました。前回訪れてから、三年の歳月が経ちました。三年の間に我家にとって三つの大きな出来事があり、その報告をいたします。

お父さんと三つの時にお別れし、顔も覚えていない貴方の息子、公男が古希を迎えることが出来、元気で四度この地に立つことができました。そして、三男に待望の長男が生まれ、子供三人にそれぞれ男の子が一人づつ授かったことになります。

昨年の秋の彼岸に、母がお父さんの元へ旅立ちました。母が二十八歳でお父さんとお別れして以来六十六年間、ある時は男として、ある時は母親として、本当に懸命に生きました。母のその姿を誇りに思います。

晩年、交通事故に遭って手術し、以後リハビリに努めましたが、再々転倒、骨折を繰り返すようになりました。それでもデイサービスに通いながら、俳句、山水画、手芸などを楽しみに最後まで気丈夫でした。

親子二人だった我家も、今では十一人の家族となり、母も意識が無くなる直前まで孫や曾孫一人ひとりの名前を呼び、「有難う、有難う」と、にこやかに微笑んでいました。そして少時して眠るように逝きました。これも偏にお父さんの加護、そして地域の皆さんの温かい支援と協力のお陰で九十五歳の天寿を全うすることができたと感謝しております。本当に有難うございました。

寒がりの母の旅立ちの日は、彼岸の中日で快晴、そして多くの方々から見送っていただき、さぞ母も喜んだことと思います。十六年前に母が訪れたイラワジ河、私によく話してくれたこのイラワジ河の河岸で、六十六年間の世の様の移り変わりを二人仲良く語り合っている姿が眼に見えるようです。

これからも国の為に、生命を捧げたお父さんや、多くの人々の上に今の生活があるということを決して忘れることなく、家族一同、力を合わせて生きて参ります。どうぞ二人で見守っていて下さい。

平成24年3月16日

遺児巡拝に参加した藤原さん
（３月19日：ビルマ平和記念碑）

あとがき―

県連盟や小団体での巡拝を含めて、ミャンマー慰霊巡拝は今回で四度目です。前回の訪問時、父が戦没したとされる地区から十キロ手前の慰霊塔で合掌した際、何処からともなく多数のすすり泣く声が聞こえてきました。突然、頭の中が真っ白になり、追悼文の文字が霞んで、どう読んだのか全く分からなくなった体験があります。同僚もそうだったと話していました。私自身初めての体験でしたが、海外の激戦地を巡拝する中で、霊の存在や、今自分は父に守られている、生かされているといった思いが、より強く感じるようになりました。

今後とも健康に留意し、感謝の心を持って少しでも社会のお役に立つ ように努め、そして英霊の供養を続けたいと思っています。

お母さん

陸軍衛生軍曹　向川敬昌命

昭和二十年五月十七日
比島群島ルソン島ヌエバビスカヤ州
ラクタワンにて戦死
富山県西砺波郡石動町出身　二十六歳

お母さん。

敬昌は立派に天皇陛下万歳と笑って、祖国の為に散って征きます。二十何年の長い間の限りなき愛を思へば、有難く只感謝の外ありません。

それに引きかへ、何ら御両親の恩愛に報いる事の出来なかった不甲斐ない己を想ふと、悲しく心から泣けます。不幸の罪は御許し下さい。

敬昌は、今は宿敵米撃滅の鬼となり、尊い血汐を流し比島の土と化します。

長い間、有難う御座いました。後の事は宜敷くお願ひ致します。

お母さんも達者で、長寿を全うされん事を、遠い異国の草葉の陰より御祈り致して居ります。

姉にも妹にも悪い兄であり、弟であった事を深く御詫び致します。

私に　金銭の貸し借りなし
　婦女の関係なし

比島にて
向川敬昌拝

母上様

一、ちりほどに　心に残る　何もなし
　今日限りの　夕暮れのそら
一、今はただ　怒りに燃へて　夷（えみし）らを
　根こそ攘（はら）はむ　いのち捧げて

（原文のまま）

【平成二十四年五月　靖國神社社頭掲示】

遺族会の動き

平成二十四年五月行事表

5日 県戦没者春季慰霊祭（県護國神社）
6日 県護國神社春季例大祭（県護國神社）
7日 久米郡江与味支部遺族会護國神社参拝（県護國神社）
8日 倉敷市遺族連合協議会総会（倉敷市役所）
9日 日遺女性部幹事会（旧九段会館）
11日 岡山市西大寺遺族連合会女性部総会（西大寺市内）
12日 総社市遺族連合会役員総会（サントピア岡山）
13日 倉敷市児島遺族連合会総会（児島市民交流C）
14日 自由民主党政経文化懇談会（岡山プラザH）
15日 倉敷市倉敷遺族連合会総会（倉敷市役所）
16日 和気郡遺族連合会役員総会（和気交通公園研修室）
19日 高梁市高梁地区戦没者追悼式（高梁市総合福祉C）
22日 瀬戸内市遺族連合会役員会（牛窓町公民館）
23日 都窪郡遺族連合会総会（早島町中央公民館）
25日 笠岡市戦没者追悼式（笠岡市民会館）
30日 井原市戦没者追悼式（井原市民会館）
31日 笠岡市遺族連合会総会（笠岡市老人福祉C）
備前市遺族連合会総会（備前市役所会議室）
美作地域戦没者招魂祭（津山雇用C）
日遺理事会・評議員会（靖國会館）
日遺政理事会・総会（靖國会館）
真庭市遺族連合会総会（久世公民館）
日遺支部事務局長会議（旧九段会館）

平成二十四年六月行事表

1日 小田郡矢掛町戦没者追悼式（矢掛町農村環境改善C）
2日 県連盟女性部会議（いさお会館）
県連盟役員選考委員会（いさお会館）
4日 玉野市遺族連合会総会（玉野市総合福祉C）
8日 高梁市川上町戦没者慰霊祭・総会（県護國神社）
浅口市郡遺族連合会評議員会（鴨方町内）
13日 新見市美穀地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
15日 久米郡久米南町戦没者慰霊祭（県護國神社）
16日 県連盟評議員選定委員会（いさお会館）
18日 日遺女性部研修会・国会陳情（東京都内）一泊
20日 真庭市久世支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
23日 県連盟正副会長・常任理事合同会議（県連盟会議室）
30日 県連盟理事会・評議員会（県連盟大会議室）

平成二十四年七月行事表

16日 戦没者遺族慰霊研修事業（東京都内）一泊
26日 全国戦没者遺族代表者会議（東京都内）